

『オランダ語史料入門』 正誤表

(2023年3月17日)

*行数は空白行を含まないタイトル、本文だけの行数です。

● 3 ページ コラム 2 17 行目

(誤) 日記本文と同時でないとい~~て~~ても

(正) 日記本文と同時でないとし~~て~~ても

● 43 ページ 12 行目

(誤) 商館長は必~~至~~の弁明に努めた。

(正) 商館長は必~~死~~の弁明に努めた。

● 145 ページ 1 行目

「未来を表す現在形」は、小見出しではなく 144 ページ末尾の例文の説明。

*オランダ語では、現在形で未来を表すことができる。

Ik ga morgen naar Nederland.

Ik zal morgen naar Nederland gaan.

どちらも可能。口語では、たいてい前者の言い方を用いる。

● 145 ページ 3 行目

(誤) 私~~は~~田中先生を知っています。

(正) 私~~たちは~~田中先生を知っています。

● 145 ページ 注 4) 末尾

(誤) In kom uit Japan.

(正) Ik kom uit Japan.

● 146 ページ 3 行目

(誤) 彼~~は~~それを約束しました。

(正) 彼~~らは~~それを約束しました。

* zij は複数形「彼ら」。

● 146 ページ 15 行目

(誤) be-, ge-, her-, ont-, ver-

(正) be-, ge-, her-, ont-, ver-, onder-

- 147 ページ 下から 10 行目

(誤) Cf. ver-, onder-, ont-, be-

(正) cf. ver-, onder-, ont-, be-, ge-, her-

*この2つは同じことを言っている。非分離動詞の場合、接頭辞にアクセントはなく、過去分詞形では、接頭辞と基礎動詞の間に ge-がつかない。

- 151 ページ 過去形 表組部分

(誤)

	zullen
ik	zou
jij / u	zou
hij / zij / het	zou
wij / jullie / zij	zou

(正)

zullen
zou
zou
zou
zouden

- 152 ページ 15 行目

(誤) 私は歴史学を勉強するためにオランダに行きました。

(正) 私は歴史学を勉強するためにオランダに行きます。

- 152 ページ 17 行目

(誤) あなたはなぜオランダにいらっしゃったのですか？

(正) あなたはなぜオランダにいらっしゃるのですか？

- 153 ページ 7. 従属節 の説明の追加

*なお、接続詞のうち en, maar, of (または), want, dus は前の文と後の文が等位である (従属関係にならない) ため、後ろの文も動詞は「2 番目」に来る。それ以外の接続詞は、従属節を作るため、後ろの文では動詞が末尾に来る。

Ik ga naar Nederland en hij gaat naar Indonesië.

Ik ga naar Nederland, terwijl hij naar Indonesië gaat.

Zij kan goed Nederlands spreken want zij heeft het lang in Nederland gestudeerd.

Zij kan goed Nederlands spreken omdat zij het lang in Nederland gestudeerd heeft.

- 154 ページ 関係代名詞節 の 1 行目

(誤) welke (モノ：気取った, 古い, 男性, 女性) と die/dat (モノ・人：一般的)

(正) welke/**welk** (モノ：気取った, 古い：男性, 女性／**中性**) と die/dat (モノ・人：一般的：**男性**, **女性**／**中性**)

* welke と die は、男性または女性、welk と dat は中性

● 173 ページ 来航オランダ船一覧

1770 年から *Burch* 号を削除。

* 同年同船は日本に向かったが、嵐に遭い、カントンに避難。